

特別支援教育

(1) 目 標

特別な教育的支援を必要とする子どもに、生きる喜びを感じとらせ、具体的な体験や活動を通して基本的な生活能力を高める。

(2) 努 力 点

お互いの個性や能力を尊重し、ともになかよく助け合う子どもに育てる。

自分のことは自分でできる力を養う。

(3) 本年度重点事項

①全職員が特別支援教育について認識を深め、共通理解をもつ。

- ・特別な教育的支援を必要とする子ども（以下 該当児童）の実態を把握し、共通理解がもてるように研修を深める。
- ・紀北支援学校との交流を通じて、紀北支援学校の実態を知り、障害児・障害者の認識を深める。

②なかよし学級での留意点

- ・該当児童の能力や特性をつかみ、一人ひとりの個別の指導計画をたて、その子に応じた指導をする。
- ・明るく楽しい学級作りへの努力を重ねるとともに、該当児童の自立性・協調性を育て、基礎的な学力をつけ、生活意欲を高める。
- ・開かれた学級経営をし、学級行事や交流活動を通して、全校児童とのふれあいを図る。

③通常学級での留意点

- ・一人ひとりに向き合い、子どもの姿を捉え声に耳を傾けようとする意識と姿勢を持って取り組む。
- ・なかよし学級での留意点にみあった該当児童の指導や学級活動を行うように努力する。
- ・なかよし学級との交流活動や紀北支援学校との交流を通して、障害児・障害者の理解を深める。
- ・なかよし学級と通常学級との連絡を密にし、学習生活をスムーズに実施できるように努める。

④機会をとらえて、保護者への啓発活動を行う。

(4) 本年度の計画

- 4月 開級式に向けて学級指導を行う。
入級する児童について職員が理解を深め、指導の意思統一をする。
開級式を行う。全保護者への啓発を行う。
新任の職員が紀北支援学校で現地学習をする。
- 5月 家庭訪問を通じて児童理解を深める。
入級児の実態を理解し合う。
- 6月 全学級で個別の教育支援記録と指導計画を作成し、実態を報告し全職員で話し合う。
なかよし学級の公開授業週間を設ける 6/7(火)～6/10(金)
来年度の入級についての協議をする。
- 7月 個人懇談で気になる子について保護者に知らせる。
- 9月 入級対象児がいる場合、市就学指導委員会で適切な指導を受ける。
気になる子の運動会への参加について話し合う。
- 11月 新入児の入級対象児の保護者参観を行う。
入級指導をする。
全児童がなかよし集会で紀北支援学校の児童と交流をする。
- 1月 入級児決定、来年度のなかよし学級の児童数を決定する。
個別の教育支援記録と指導計画を作成し、それをもとに全職員で話し合う。
- 2月 新入児説明会で保護者への啓発を行う。
入級児の成長を知らせる。
- 3月 本年度の反省と来年度の課題について話し合う。

※必要に応じて、援助が必要な児童についての対応や体制を話し合うとともに
専門機関と連携する。